

- 問1 豊臣秀吉が行った太閤検地や刀狩などの政策は、社会の仕組みを大きく変化させました。これら一連の政策によって進められた「兵農分離」が示す内容として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|
| 1. 武士と農民を対等な立場とし、双方が協力して村の自治運営を行う体制を整えた。 | 2. 武士に農業を奨励して食料自給率を高めると同時に、農民にも名字帯刀を許した。 | 3. 武士と農民の身分を明確に区別し、武士が農民を支配する社会構造を確立した。 | 4. 農民が自由に職業を選べるようにすることで、商工業の発展を促した。 |
|--|--|---|-------------------------------------|
- 問2 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げた後、多大な軍費と兵力を投じて二度にわたる「朝鮮出兵」を行った主な背景や目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. キリスト教の布教を支援するために、朝鮮半島を経由してヨーロッパとの貿易を拡大しようとしたため。 | 2. 当時の中国を支配していた明の征服を目指し、その経路上にある朝鮮半島を制圧しようとしたため。 | 3. 朝鮮半島から金や銀を大量に輸入することで、国内で鑄造する貨幣の質を高めようとしたため。 | 4. 元寇の際に受けた被害に対する報復として、鎌倉時代から続く大陸との対立を解消しようとしたため。 |
|--|--|--|---|
- 問3 太閤検地において、豊臣秀吉が「升（ます）」の大きさを統一し、全国共通の基準で土地の生産力を米の量で表した仕組みを何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 地価（ちか）制度 | 2. 班田（はんでん）制 | 3. 石高（こくだか）制 | 4. 貫高（かんだか）制 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
- 問4 豊臣秀吉に重用された千利休が完成させた「わび茶」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豪華な金箔や高価な中国製の器を誇示するのではなく、簡素で静かな佇まいの中に美しさを見出すスタイル。 | 2. 禅宗の教えを基にしながらも、能楽や狂言と組み合わせて將軍の御所などで披露された芸能。 | 3. 大陸から伝わった水墨画の技法を取り入れ、茶室の壁面に自然の風景を再現することを目指した形式。 | 4. 書院造の広大な部屋で、身分の上下を厳格に区別しながら大規模な茶会を催す形式。 |
|--|---|---|---|
- 問5 2007年に世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡が、他の大規模な鉱山遺跡と異なり、国際的に高く評価された特徴としてふさわしい説明はどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。 | 2. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。 | 3. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。 | 4. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。 |
|--|---|--|--|
- 問6 豊臣秀吉が行った太閤検地では、全国で統一された「京ます」や「検地尺」という道具が用いられ、土地の面積や生産力が一律の基準で調査されました。この調査によって確立された「一地一作人」の原則が、それまで土地を支配していた公家や寺社などの荘園領主にもたらした影響として最も適切なものを説明したものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. それまで持っていた荘園領主としての地位や土地に対する権利を失った。 | 2. 独自の基準で年貢を徴収する権限が強化され、幕府から領地の支配権を公認された。 | 3. 土地を直接耕作する権利が認められ、農民と同じ立場で検地帳に登録された。 | 4. 軍役を負担する代わりに、広大な土地を所有する大名としての地位を確立した。 |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問7 大航海時代において、ローマ教皇から新領土の占有を認められる条件として、キリスト教の布教を義務付けられ、日本への鉄砲伝来やキリスト教伝来にも深く関わった2つの国家の組み合わせとして適切なものを選んでください。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. イタリアとドイツ | 2. ポルトガルとスペイン | 3. フランスとロシア | 4. イギリスとオランダ |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
- 問8 世界史と日本史における東西交流に関する次の3つの出来事「十字軍の派遣」「バスコ・ダ・ガマのインド到達」「天正遣欧少年使節の派遣」を、発生した年代の古い順に正しく並べたものはどれか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 天正遣欧少年使節の派遣 → 十字軍の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 | 2. 十字軍の派遣 → 天正遣欧少年使節の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 | 3. バスコ・ダ・ガマのインド到達 → 十字軍の派遣 → 天正遣欧少年使節の派遣 | 4. 十字軍の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 → 天正遣欧少年使節の派遣 |
|--|--|--|--|
- 問9 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。 | 2. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。 | 3. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。 | 4. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地に登録する原則が確立した。 |
|--|--|--|--|
- 問10 16世紀、イエズス会が日本を含むアジアなどの海外への布教活動を積極的に行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. ルネサンスの影響により、キリスト教以外の学問が禁止されたため。 | 2. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。 | 3. 島原・天草一揆の結果、幕府がキリスト教の布教を許可したため。 | 4. 大航海時代の到来により、ヨーロッパ全域がイスラム教に支配されたため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
- 問11 16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. イスラム勢力の拡大に対抗し、聖地エルサレムを軍事的に奪還することを目指した。 | 2. 科学技術の向上と機械の導入により、手作業に頼っていた生産活動を工業化しようとした。 | 3. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させ、人間中心の自由な文化や芸術を追求した。 | 4. それまでの教会の権威や形式的な儀礼を批判し、聖書に基づいた信仰のあり方を目指した。 |
|---|--|---|--|
- 問12 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国が航海技術を発展させて海外へ進出した「大航海時代」の影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。 | 2. スペインがブラジルを植民地としたため、周辺の国々とは異なりブラジルではスペイン語が公用語となっている。 | 3. 第二次世界大戦後の独立運動により、南アメリカの国々ではヨーロッパ由来の言語が公用語として使用されなくなった。 | 4. 産業革命による工業製品の輸出を目的として、ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を支配下に置いた。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 武士と農民の身分を明確に区別し、武士が農民を支配する社会構造を確立した。	太閤検地によって土地の所有者と年貢の負担者を確定させ、同時に刀狩によって農民から武器を没収することで、農民が反乱を起こす手段を奪いました。これにより、それまで曖昧だった武士（戦闘に従事する者）と農民（生産に従事する者）の境界がはっきりし、武士が支配者として農民を統治する近世の身分制度の基礎が築かれました。
問2	答え 2 当時の中国を支配していた明の征服を目指し、その経路上にある朝鮮半島を制圧しようとしたため。	豊臣秀吉は、日本国内の統一に満足せず、アジア全域を視野に入れた領土拡大を構想しました。その最大の標的は中国の明であり、明への進軍ルートを確保するために朝鮮半島へ軍を派遣しました。この出兵は、現地の抵抗や明の援軍、さらには秀吉自身の病死によって、最終的には全軍撤退という形で終わりました。
問3	答え 3 石高（こくだか）制	秀吉は全国でバラバラだった「升」の大きさを統一したうえで、土地の面積に等級（生産力）を掛け合わせて、その土地でどれだけの米が収穫できるかを見積もる「石高」という単位を導入しました。この石高によって、農民が納めるべき年貢の量や、大名が負担すべき軍役（軍事的な動員数）の基準が明確になりました。
問4	答え 1 豪華な金箔や高価な中国製の器を誇示するのではなく、簡素で静かな佇まいの中に美しさを見出すスタイル。	「わび茶」は、村田珠光や武野紹鴎らによって始められ、千利休によって完成されました。それまでの華美な装飾を排し、あえて不足や不完全なものの中に深い精神性や美しさを感じ取ることが重視しました。秀吉の「黄金の茶室」に象徴される豪華絢爛な桃山文化とは対照的な、内省的な文化の側面を象徴しています。
問5	答え 1 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。	石見銀山は、森林を完全に破壊することなく、燃料となる薪や炭を確保するために計画的な植林が行われるなど、環境に配慮した鉱山運営が行われていました。このように自然と産業が共生していた歴史的背景は、現代の持続可能な開発の観点からも重要視され、世界遺産登録の大きな要因となりました。近代化の象徴である製鉄業と関連が深いのは、同じく世界遺産の「明治日本の産業革命遺産」に含まれる官営八幡製鉄所などです。
問6	答え 1 それまで持っていた荘園領主としての地位や土地に対する権利を失った。	太閤検地によって「一地一作人」の原則が確立されたことで、一つの土地に対して実際に耕作を行う農民一人が検地帳に登録され、年貢の負担義務を負うことになりました。これにより、平安時代から複雑に積み重なっていた土地の権利関係が整理され、それまで土地の持ち主として収益を得ていた公家や寺社などの荘園領主は、その地位や権利を失うこととなりました。これは、中世から続いた荘園制度が完全に消滅したことを意味します。
問7	答え 2 ポルトガルとスペイン	15世紀後半から16世紀にかけて、未知の航路を開拓して世界進出を先導したのは、イベリア半島に位置するポルトガルとスペインでした。両国は教皇の認可のもと、到達した土地を自国の領土とする代わりに、その地の先住民などにキリスト教を広める役割を担いました。日本に初めて到達したヨーロッパ人も、この両国の関係者であり、ザビエルの来日など宗教的な活動が外交や貿易と密接に結びついていました。
問8	答え 4 十字軍の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 → 天正遣欧少年使節の派遣	十字軍の派遣は11世紀末から始まった中世ヨーロッパの出来事であり、バスコ・ダ・ガマのインド到達は15世紀末（1498年）の大航海時代の出来事、天正遣欧少年使節の派遣は16世紀後半（1582年）の日本の安土桃山時代の出来事であるため、この順序が正しい。
問9	答え 4 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として定めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。
問10	答え 2 ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。	ヨーロッパ国内で宗教改革が広まると、プロテスタントの勢力が増し、相対的にカトリック教会の勢力が縮小しました。これに危機感を抱いたカトリック側は、組織を立て直すとともに、失った勢力を補うために海外での新しい信者獲得を目指しました。そのために結成されたのがイエズス会です。
問11	答え 4 それまでの教会の権威や形式的な儀礼を批判し、聖書に基づいた信仰のあり方を目指した。	ルターは「九十五ヶ条の論題」を発表して教会の不正を批判し、信仰の根拠は教会ではなく聖書にあると主張しました。この考え方は、当時普及し始めた活版印刷術によって急速に広まり、従来の教会のあり方を根本から揺るがすことになりました。
問12	答え 1 ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。	15世紀末からの大航海時代において、ポルトガルは南アメリカ大陸の東部に到達し、現在のブラジルにあたる地域を植民地としました。南アメリカ大陸の多くの国々がスペインの支配を受けてスペイン語を公用語としているのに対し、ブラジルはポルトガルの支配を受けた歴史的背景から、現在もポルトガル語を公用語としています。産業革命は18世紀後半以降の出来事であり、大航海時代の動機とは異なります。